

施政方針に対する 代表質問 (要旨)

全文は板橋区議会ホームページに掲載します



田中 やすのり
(自 民 党)

区財政の見直しを問う

【質 問】生産年齢人口の減少による特別区民税の減や、高齢者人口の増加による高齢福祉費の増などにより、収支均衡型予算を継続して進むことは難しいと推察できる。収支均衡型予算編成が困難になる時期を想定した財政面の中長期的な計画は。

児童相談所への適正な職員配置を求めて

【質 問】児童相談所開設までに国の配置基準を満たす児童福祉司を配置するための進捗状況は。また国は、現行人口4万人に1人以上としている配置基準を3万人に1人以上に配置に改めるとしているが、新基準にも対応可能か。

公共施設の最適な配置を求めて

【質 問】公共施設の再整備にあたっては、既に様々な要望や意見が出されているが、分散化している男女平等推進センターや交通利便性の低い障がい者福祉センターなど、区全体として最適な配置とな

極めが甘かったのでは。②これまで認可保育園と小規模保育施設の二本立てで対策を進めてきたが、今後は空き定員のある保育所への送迎実施など、一歩踏み込んだ対策が必要では。

【区 長】①子ども・子育て支援事業計画では、30年4月に待機児童を解消する予定であったが、185名の待機児童が生じる結果となった。31年4月の待機児童数を踏まえ、幼児教育・保育無償化制度の影響などを総合的に勘案しながら今後の保育需要を把握し、待機児童対策に取り組む。②送迎保育ステーション事業には一定の効果があると認識しており、今後も様々な事例や手法を調査・研究していく。

板橋区版AIPについて問う

【質 問】在宅医療には医療と介護の多職種による連携や情報共有の仕組みが必要だが、これには個人情報保護の壁が立ちほだかると聞く。課題の打破に向けた取り組みは。

地域が真に求める防犯カメラ維持管理経費助成を求めて

【質 問】都は31年度予算において、防犯カメラの維持管理経費のうち、保守点検費と修繕費を対象とする補助事業の予算を計上した。しかし、これまで特別区議会議長会が都に要望してきたのは、日常の維持管理経費への助成であり、今回の助成対象は地域が本当に求める助成となっていない。要望実現に向け、今後も特別区議会議長会と歩調を合わせた取り組みを。

仮称「発達障がい者支援センター」には適切な人員配置を

【質 問】同センター開設に際しては、かねてより専門性のある人材の配置を求めているが、取組み状況は。

区長 大人の発達障がい者支援に関する連絡会において、センターの支援内容や職員の専門性確保のための資格能力および人数などを検討している。センター長の採用については、事業の具体化の議論にも関与できるように早期に実施する。

一歩踏み込んだ待機児童対策を求めて

【質 問】①区はこれまでも保育定員を大幅に増やしてきたが、毎年多くの待機児童が発生している。保育需要の見

スクールロイヤーの全校配置を求めて

【質 問】福祉や心理、法律などの専門スタッフの参画により、教育現場が抱える課題解決をサポートすることで、教職員一人ひとりが高い専門性を発揮し子どもと向き合う時間を増やせることが期待できる。スクールロイヤーの全校配置について具体的な検討を求めるが、見解は。

教育長 26年度に板橋法曹会の弁護士による法的観点からの助言や指導を受ける体制を整備した。教員の負担軽減の観点からも、問題が深刻化する前に学校長と弁護士が直接相談できる体制などについて、協議を進める。

避難所トイレの環境改善を求めて

【質 問】過去の災害では、避難所のトイレが決して衛生的とは言えず、使用を控えるために食事や水を我慢し、体調を崩す被災者が多かったと聞く。区内避難所の仮設トイレは、和式の割合が62%と高いままであるため、洋式のマホールトイレの配備を進め

災害時、体育館や校舎のトイレが上下水道の故障などで使用できない場合の非常用として仮設トイレを配備している。18年度から洋式のマンホールトイレを導入し、約4割の洋式化が完了しているが、今後も汲み取り型の仮設トイレも含め更新の際に洋式化する予定。

AいやICTの活用による業務改善の実現を

【質 問】区では、AいやICTのさらなる活用についての検討が始まっているとのことだが、今後は既存業務で新技術が活用できるものを一斉に洗い出し、業務改善を加速させる取組みが必要。AいやICTの活用についての展望は。

区長 現在、国では技術革新により車の自動走行などが可能になる社会の実現に向け、中長期的な戦略を掲げ、



商店街に設置された防犯カメラ



大田 ひろし
(公 明 党)

ふるさと納税について問う

【質 問】クラウドファンディング型ふるさと納税について、子ども食堂や子ども宅食への拡充を。見解は。

子ども食堂は31年度より運営費の支援事業を開始する。事業の利用状況などを踏まえ、必要性を検討する。

公共施設整備について問う

【質 問】①区民集会所の廃止を検討する際、半径500mの範囲に集会所がなくなる地域には、代替施設確保後に廃止を。見解は。②福祉団はすでに指定管理者により運営されているが、民営化を検討する理由は何か。③公共施設などの整備について、2割の経費

実現したい未来の姿へアプローチを開始している。区においても、今後の人口減少や超高齢化を迎える中で、あらゆる分野におけるICT導入に向けた検討を行い、「持続可能な地域社会」の構築をめざしていく。

都立城北中央公園陸上競技場整備に向けた機運醸成を

【質 問】都立城北中央公園を舞台に開催予定のオリンピックデレーランを、同公園の陸上競技場整備の実現に向けた機運醸成に活用してはどうか。

本イベントを通じて、都との協力関係や城北5区との連携をさらに深めながら、引き続き区が中心となり、整備実現に向けた機運を醸成していく。

削減に取り組むとしているが、その努力の結果を数値化し検証すべきでは。

【区 長】①廃止の際は、半径500mの範囲で空白とならないように、代替施設を考慮し進めている。②社会福祉法人が区内で福祉園と同等の事業を展開しており、行政運営適正化の視点から民営化を検討している。③適正配置と適切な維持管理に努め、施設にかかる総経費を明確化し、削減の効果を検証する。

平和事業について問う

【質 問】平和に関する定期的な区民講座の開催と、平和都市宣言を誇りに思えるような事業を充実すべきでは。

【質 問】平和に関する定期的な区民講座の開催と、平和都市宣言を誇りに思えるような事業を充実すべきでは。

福祉のエリアの創設を求めて

【質 問】障がい者の事業も地域ごとにきめ細かなサービス展開ができるよう(仮称)福祉のエリアを構築しては。

障がい者施設をエリア分けすることは非効率的であり、行政資源の観点からも慎重な検討が必要と考える。

ワクチン接種率向上を求めて

【質 問】高齢者肺炎球菌ワクチンの今後の接種率向上のための対応と、接種対象年齢で接種できなかった区民への救済措置について見解は。

個別送付するお知らせの内容を読みやすく改善するなど工夫する。接種対象年齢は政令で定められており、特別な事情がない限り接種期間以外は利用できない。

安全・安心について問う

【質 問】①防災士資格への

(3面に続く)

【質 問】①防災士資格への



板橋区の平和祈念像